



『兄弟愛をもって!』(要旨)

ローマ 12・9~18 説教者 原田憲夫

今週の聖句 ローマ 12・10

賛美 : [説教前] 讃美歌 21-58 番(1,2 節), [説教後] 讃美歌 21-479 番(1,2 節)

今朝は特に使徒パウロが9,10 節で語る「愛」-十字架に現れた神の愛-
についてご一緒に耳を傾けたいと願います(▷ローマ 5:8)。

私たちがキリストを信じ、キリストのからだである教会の一員(メンバー)に加えられたということは、十字架に現れた神の愛を生きることを意味します。その実践すべき内容が12章以下です。

【1】「愛には偽りがあってはなりません」(9)

「偽り」とは、「本人とは別に仮面をかぶった役者」を意味します。私たちに愛がないなら見せかけの愛で芝居をせざるをえないということでしょう。けれども演じ続けることは苦しいはず。必ずいつか行き詰まり、やがて消えていきます。

「偽りのない愛」とは、

1) 「私には愛がない」と悩み、葛藤しながらも、「私の心の中にあふれてくる神の愛を映し出すこと」です。

思い起こしてください! 主イエスを信じる人の心の内には聖霊によって神の愛が注がれていることを(ローマ 5:5)。この愛は消えることがない真実の愛です。▷ローマ 8:38-39

2) 「悪を憎み、善から離れないこと」です(9b)。

「愛」は「正義」と一体であり、善と悪の境をしっかりと見極めることができるのです。神の愛と神の正義の出会い場所、それが十字架です!

【2】「兄弟愛をもって」(10)

「兄弟愛(フィデルティア)をもって

1) 「・・・互いに愛し合いなさい」(10a)

これは初代教会の特長でした(1ヨハネ 3:23)。

▷エペソ 2:19 「神の家族」

▷ガラテヤ 3:26 「神の子ども」

2) 「・・・互いに相手をすぐれた者として尊敬し合いなさい」(10b)

これは初代教会の特長でした(ピロ 2:3)。

▷1テモテ 5:12,13

兄弟たち、あなたがたにお願いします。あなたがたの間で労苦し、主にあつてあなたがたを指導し、訓戒

している人たちを重んじ、その働きのゆえに、愛をもって、この上ない尊敬を払いなさい。また、お互いに平和を保ちなさい。

当時の優劣を競うギリシア、ローマ社会の中にあつて、キリストをかしらとする一つのからだ-教会は、「そのからだにはさまざまな器官があり、多くの部分から成り立っていること」を大切に、お互いを認め合ったのです(1コリント 12:12,27)。

▷ガラテヤ 3:28

「・・・あなたがたはみな、キリスト・イエスにあつて一つだからです。」

【勧め】

「兄弟愛」は、キリストのからだ-教会の中を流れる「血」のように、これが失われれば、教会はいのちを失います!

e.g. ジョルジュ・ルオーの一枚の絵

「なんじら、互いに相愛せよ」

▷1ヨハネ 4:20-21

「神を愛すると言いつつ兄弟を憎んでいるなら、その人は偽り者です。目に見える兄弟を愛していない者に、目に見えない神を愛することはできません・・・」

今日、そして今年、ご聖霊の導きにより十字架に現れた神の愛をしっかりと心に抱き直し、兄弟愛をもって互いに愛し合い、互いに尊敬し合い、ともに主キリストをかしらとするそのからだ-教会にお仕えさせていただこうではありませんか!

*祈り

*賛美

